

JFCA30周年記念講演会・祝賀会 報告



日本ファインセラミックス協会が設立されて30年を記念したJFCA30周年記念講演会・祝賀会が、平成28年11月10日(月)にTKPガーデンシティ品川(東京都港区高輪)において開催されました。

15時に山口部長の司会で開会が宣言されました。

はじめに室町会長挨拶を行い、過去30年におけるファインセラミックス業界の取り組みについて触れられ、30周年をマイルストーンとしてファインセラミックス産業がさらに発展することを期待すると述べられました。

つづいて矢野専務理事より「JFCA30年の歩み」と題して、JFCA設立の経緯から30年間の取り組みについての紹介が行われました。

その後で9名の方々が登壇し、室町会長より特別功労賞表彰が行われました。



- ①長岡技術科学大学 植松 敬三 様
ISO/TC206(ファインセラミックス)幹事国業務委員会委員長
- ②金沢工業大学 堤 定美 様
ISO/TC150(バイオセラミックス)国内審議委員会委員長
- ③NASA グレンリサーチセンター・オハイオ航空宇宙研究所
Mriyunjay Singh 様(代理:大司達樹 様)
ファインセラミックス産業の国際振興

- ④旭硝子株式会社(OB) 菅野 隆志 様
ISO/TC206(ファインセラミックス)初代国際幹事
- ⑤クアーズテック株式会社 長浜 敏夫 様
半導体製造用ファインセラミック製品市場の開拓と実用化への貢献
- ⑥日本特殊陶業株式会社 島森 融 様
窒化ケイ素部材の研究開発と社会貢献
- ⑦宇部興産株式会社・化学カンパニー 山田 哲夫 様
イミド熱分解法による高純度窒化ケイ素粉末の製造と普及に関わる研究開発

- ⑧京セラ株式会社 高坂 祥二 様
ファインセラミックス産業振興に対する社会的貢献
- ⑨光触媒工業会 国際委員会・標準化委員会 様
(代表:井村 達也 様)
光触媒の国際標準化と国際協調の推進

つづいて東京工業大学フロンティア研究所 教授 東正樹教授より「Roadmap 2050について」と題して、当協会が企画・参画した1年半のタスクフォースによりファインセラミックスの未来を予測した結果についてご説明がありました。出席者には「FC Roadmap 2050」が配布されました。



当協会の副会長でもある株式会社村田製作所代表取締役社長 村田恒夫氏より「村田製作所 成長の軌跡と戦略」についてのご講演がありました。オープニングにおいて村田製作所チアリーディング部プロモーションビデオの可愛いロボット達が所狭しと躍る姿がスクリーンに映し出されると村田製作所の持つワクワク感に会場が包まれました。村田製作所がどのような考えで、何を大切に成長を続けてきたかを解りやすく述べられました。



休憩を挟み、16時50分からカリフォルニア大学サンタバーバラ校 材料物性工学科 教授 中村修二先生より「高効率青色発光ダイオードの発明

とその後」についての講演がありました。ノーベル物理学賞に輝いた高輝度青色発光ダイオードの発明には諦めずに研究を続けること、そして次の世代に続く紫色発光ダイオードには意思を持って先端技術を開発し続けること、をユーモアあふれる口調ながら強烈なインパクトを持って熱弁されました。

講演の熱気に包まれた中で記念講演会が閉会いたしました。

隣にある祝賀会場では、開会を待つまでの間ウェルカムドリンクをご提供して、京セラ株式会社展示協力による「FC30年を振り返る」と題した製品・映像、協会活動紹介及び協会賞のパネルをご覧くださいました。

18時になると矢野専務理事の司会で開会が宣言されました。



はじめに室町会長が挨拶を行いました。

つづいてご来賓として経済産業省製造産業局糟谷局長から、多くの活動によりファインセラミックス産業が拡大してきたこと、今後も引き続き拡大を継続することが重要であり更なる発展を期待する、とのお言葉を



いただきました。つづいて10年間にわたり当協会の会長・副会長を務めた元日本ガイシ株式会社会長・社長 小原敏人氏に特別表彰が行われました。受賞の挨拶では、山あり谷ありの人生だが谷の方が多かった、との言葉を会場全体が静かに聞き入っていま

した。

壇上に3つの樽が並べられ、中村先生、糟谷局長、小原様、正副会長に加え、文部科学省学術振興局小松局長、厚生労働省 磯部課長、ファインセラミックスセンター 服部理事長、日本セラミックス協会 篠崎副会長、産業技術総合研究所 金山副理事長、物質・材料研究機構 長野理事の12名による鏡抜きが行われました。



大島副会長の乾杯の音頭で、歓談に移りました。

19時には、米国セラミックス学会理事会・米国先進セラミックス協会理事会・ドイツセラミックスアプリケーションの3機関から室町会長に記念盾が送られました。つづいて協会設立期に

テレビ放映されたセラミックスエンジン番組を中心としたセラミックス製品の過去と未来を描いた映像がスクリーン流れ、矢野専務理事から、ファインセラミックスの30年の歴史における先人の苦労に対する深い感謝の言葉が述べられました。

19時30分になると、矢野専務理事より、世界ルールをリードする、市場をリードする、材料をリードするという、3本の矢を掲げて事業を推進し、10年後、20年後の更なる発展を宣言し、お開きとなりました。



[ご出席者] 延べ 423名

